

出雲国風土記のスケール感で繋ぐ、宍道湖・大橋川・中海の水辺回遊公園都市

「大橋川周辺まちづくりの全体像」は、「基本方針」を各地区の整備の骨格へと具体化するために、水辺の利活用、観光振興・商業振興と関連させながら、宍道湖から中海に至る水都松江の全体像としてまとめたものである。

水都松江の水辺を活かしたまちづくりの理念は、季節の景・一日の景を楽しみながら散策できる回遊性を重視した「水辺回遊公園都市」とする。「水辺回遊公園」とは、宍道湖・大橋川の既存の親水空間、新たに創出・再生する水辺空間、良好な視点場、環境学習の場等を含む巨大回遊空間のことである。

宍道湖・大橋川・中海を繋ぐ水辺の回遊公園都市は、出雲国風土記のスケール感でとらえ、松江城・堀川遊覧、歴史や文化を活かしたものとす。

いずものくに ふ ど き つな

出雲国風土記のスケール感で繋ぐ、宍道湖・大橋川・中海の水辺回遊公園都市

出雲国風土記

奈良時代の733年に完成した出雲国風土記は、八東水臣津野命(洪水神)が大社湾の「國の長浜」と美保湾の「夜見が浜」を綱として、それぞれを三瓶山と大山を杭として結び、遠く朝鮮半島や熊野半島から来た土地を引き寄せ島根半島とした、壮大なスケールの国引き神話が始まっている。大橋川はこの国引きによる縁目に当たる部分で、壮大なスケールの中にある。

松江大橋

- ◆松江大橋を架け替える場合のデザインは、歴史・文化を感じさせる風情を大切にしたいとする。
- ◆現在の風情を引き継いだ橋となるよう配慮する。
- ◆水辺の回遊コース・まち歩きコースとともに、歩行者動線の中心的な南北軸と位置づけ、南北に休憩できる橋詰公園を検討する。



岸辺の回遊コース

- ◆南北を繋ぐ上流の4つの橋を歩いて巡り、季節や一日の中で見せる多様な水辺の表情を見ながら回遊できる空間を創出する。また、夕日スポットや県立美術館、白濁公園等を繋ぐ連続した空間となるよう配慮する。



- ◆回遊コースの随所に休憩スポットとなる場を創出し、水辺の近さを感じることが出来るよう配慮する。(橋詰め広場等)

- ◆伝統的まちなみや、良好な視点場に配慮した空間とする。

まち歩き回遊コース

- ◆松江駅前から水辺へ誘導する歩行者動線に配慮する。
- ◆商店街を歩きながら、松江城まで回遊できる歩行者動線を意識したまちづくりとする。

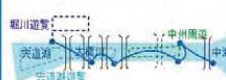


- ◆松江城、カラコ広場、堀川遊覧、宍道湖遊覧船等の観光資源と市街地内の公園等を活かし、商業・観光振興と運動した歩行者動線に配慮する。

- ◆伝統的まちなみや、良好な視点場から散策し、水辺の公園や親水空間で休憩できるスポットを創出する。

水上回遊コース

- ◆宍道湖・大橋川・中海をつなぎ、風土記のスケール感を感じながら回遊するコースを、商業振興・観光振興と併せて検討する。



- ◆乗船場等の水上交通の拠点となる場所を創出する。(配置についても検討)

- ◆水都松江の風情と水郷風景を最大限に活かし、堀川遊覧、宍道湖遊覧、中州周遊等との連携に配慮する。

水郷回遊コース

- ◆自然豊かな水郷風景を見ながら回遊できる散策道・自転車道として活用する。

- ◆目的に適した場所では、釣りや、カヌー等のレジャースポットや環境学習の場として活用する等、治水上有効な治水機能の保全にも配慮しながら、景観と自然環境を損なうことのない整備を検討する。

- ◆現在の生活道路としての機能や水辺の近さ、水郷風景等、地域の特性に配慮した河岸を検討し、歩行者や自転車が河岸を回遊できるよう連続性に配慮する。

- ◆白鳥が飛来する豊かな自然が現存する大橋川河口では、環境学習の場としての可能性を、河岸にはヨシ帯の再生等を検討する等自然景観に配慮する。

北岸：歴史・文化のかおりを残す「和の趣」のまちづくり

- ◆水辺に現存する夕日スポットや県立美術館前、白濁公園、運動公園を繋ぎ、宍道湖や大橋川の水流、季節や一日の中で見せる多様な景観を楽しみながら回遊できる「岸辺回遊コース」の一部として楽しめる、歴史・文化のかおりを残した「和の趣」を活かしたまちづくりを行う。(優れた景観形成の誘導措置を併せて検討)

- ◆河岸形状や人の動線、車の動線、商業振興などを考慮し、堤防・道路・沿道建築物との調和を図りながら「まちの骨格」を検討する。
- ◆老舗旅館や飲食店等、伝統的な施設も構想の重要なポイントとして位置づける。
- ◆伝統的まちなみや通る生活道路は、通行規制も含めた検討を行う。



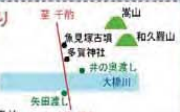
南岸：回遊公園都市の拠点となる水辺の公園を中心としたまちづくり

- ◆水辺に現存する夕日スポットや県立美術館前、白濁公園、運動公園を繋ぎ、宍道湖や大橋川の水流、季節や一日の中で見せる多様な景観を楽しみながら回遊できる「岸辺回遊コース」の拠点であり、「水上回遊コース」の拠点となる「大橋南詰め公園」を中心としたまちづくりを行う。(面的整備の検討)

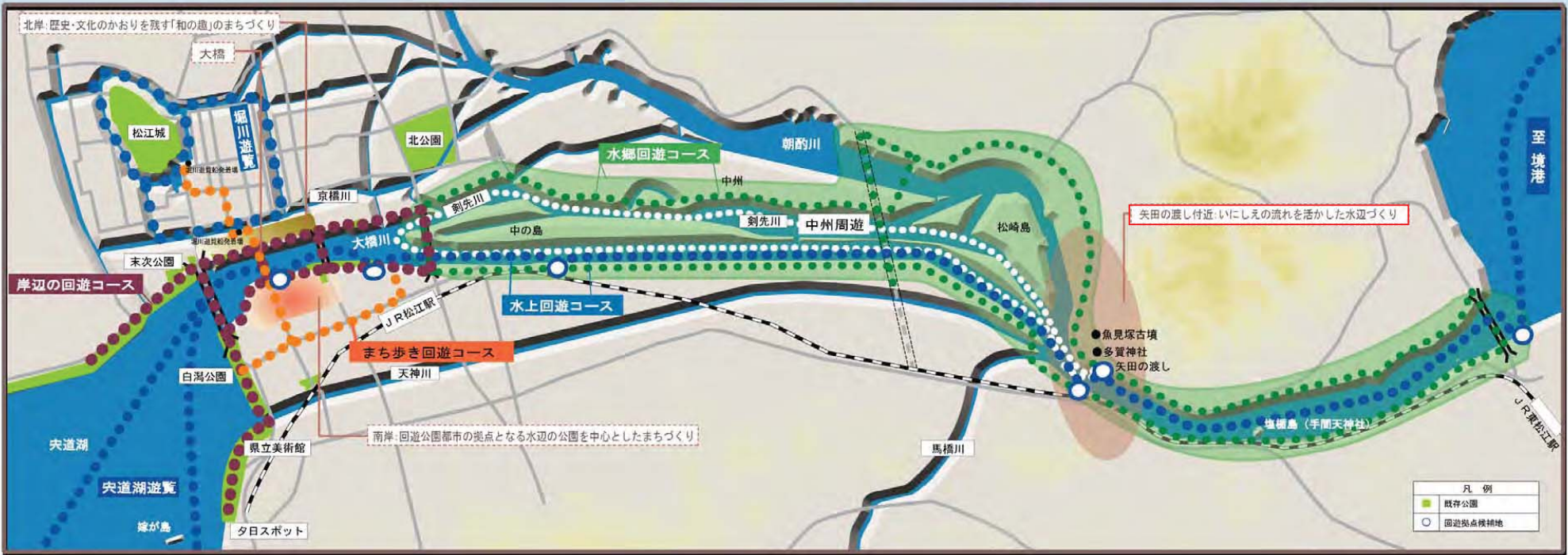
- ◆拠点となる水辺の公園や、人の動線、車の動線、商業振興などを考慮し、道路や公共施設等の配置を決める「まちの骨格」を検討する。また、水辺は人の動線を主とし、背後の道路では、歩・車道分離や通行規制も含めた検討を行う。

矢田の渡し付近：いにしへの流れを活かした水辺づくり

- ◆「水上回遊コース」「水郷回遊コース」の休憩スポットや水上交通拠点候補として検討する際には、多賀神社、魚見塚古墳、塩唐島等の歴史的・文化的財産を活かした空間となるよう配慮する。



圏外から臨海の島へのルートとして利用されていた旨記載あり



凡例	
■	既存公園
○	回遊拠点候補地